



行政相談シンボルマーク

平成 30 年 4 月 29 日  
沖縄行政評価事務所  
(所長 城間 盛孝)

## 浦添市担当の行政相談委員が平成 30 年春の叙勲を受章！

この度、浦添市担当の行政相談委員 <sup>つはこ</sup>津波古 <sup>しげお</sup>重男氏 (79 歳) が、地域住民福祉の向上、行政の民主化などに貢献したとして、行政相談功勞により、平成 30 年春の叙勲 (瑞宝双光章) を受章されることになりました。

### <<sup>つはこ</sup>津波古 <sup>しげお</sup>重男 氏>

- ・ 総務庁長官から行政相談委員に委嘱…………… (平成 11 年 4 月)
- ・ 沖縄行政評価事務所長感謝状受賞…………… (平成 13 年 5 月)
- ・ 沖縄行政評価事務所長表彰受賞…………… (平成 18 年 5 月)
- ・ 公益社団法人 全国行政相談委員連合協議会長表彰受賞  
…………… (平成 22 年 5 月)
- ・ 総務大臣表彰受賞…………… (平成 22 年 10 月)



### <主な功績>

- 津波古氏は、平成 11 年 4 月に総務庁長官 (現総務大臣) から行政相談委員に委嘱されて以来、現在まで 19 年間、浦添市役所内に設置した定例相談所等において、地域住民からの相談に親身に耳を傾け、現地確認や関係機関への連絡などの地道な相談活動の実践により、地域住民の福祉向上、行政の民主化に貢献  
(※主な取扱い事例については、2 ページ目を参照。)
- 高齢者の会合の場を活用するなどして行政相談事案の受付や行政相談委員制度の普及・啓発を積極的に行ったほか、沖縄行政相談委員協議会 (注 2) において、平成 25 年 5 月から 29 年 5 月まで会長を務め、県内の行政相談委員のリーダーとして活躍

(注) 1 行政相談委員は、民間の有識者を対象に、総務大臣が委嘱しており、全国で約 5,000 名、うち、県内では 72 名の行政相談委員が各市町村に配置されており、委員は、国民の相談相手として、国等の仕事に関する苦情などの相談を受け付け、助言や関係行政機関に対する通知などを実施している。

2 行政相談業務の進展に寄与することを目的に、県内の行政相談委員により構成された団体であり、昭和 48 年 6 月に設立された。

## ＜津波古 氏の主な取扱事例＞

### （１）老朽化のため、通行する際に危険な歩道橋の補修

「国道に設置された横断歩道橋は、老朽化のため腐食が進み、階段等に穴が空いている箇所もあり危険である。」との相談

行政相談委員である同氏が現地確認を行ったところ、危険箇所が確認されたことから、当時、国道の維持管理に関する調査を行っていた沖縄行政評価事務所に情報提供を行い、関係機関に対し改善を要請

この結果、道路管理者において、横断歩道橋の応急修繕を実施

### （２）高齢者に配慮した歩行者用信号機の点灯時間の延長

「国道に設置された横断歩道用の信号機の点灯時間が短いため、道路を渡りきる前に信号が青から赤に変わり、車が目の前を通過しようとするため、とても怖い。何とかならないか。」との相談

委員が現地確認を行ったところ、通常の歩行速度で横断歩道を渡りきるために要した時間よりも、信号機の青信号の点灯時間の方が短いことが判明

委員は、この調査結果を関係機関に説明し、高齢者の横断速度にも配慮した改善の要請を行った結果、関係機関は、青信号の点灯時間を延長する措置を実施

### （３）公園建設予定地に大量に放置されたごみの撤去

「自宅近くの空き地は、公園建設予定地だが、敷地の西側に一般廃棄物が大量に放置され、環境衛生上好ましくなく、児童・生徒の通学路にも面しており、教育上も悪影響であると思われるので、これらの一般廃棄物を早急に撤去してほしい。」との相談

委員が現地確認を行ったところ、ごみの入った袋が多数山積みになっている状況が確認されたため、関係機関に対し改善を要請した結果、廃棄物の撤去が行われた上、不法投棄防止を警告する看板も設置

照会先：沖縄行政評価事務所行政相談課
課長 内里
委員係長 仲宗根
電 話：098-866-0148